

平成28年1月7日
四国地方整備局
香川河川国道事務所

おおちしろとり
**国道11号 大内白鳥バイパス 混雑が改善し、
約7割の事故が減少！**

～開通から6箇月後の交通状況及びストック効果～

平成27年3月に延長2.1kmが部分開通した国道11号大内白鳥^{おおちしろとり}バイパスの開通後6箇月の交通状況及びストック効果についてお知らせします。

1. 部分開通後の交通状況

- ・バイパス交通量(利用車台数)が**約3割増加**
(2-1工区：開通直後 約3,300台/12h → 開通6箇月後 約4,200台/12h)
- ・JR三本松駅前交差点(主要渋滞箇所)の旅行速度が上昇し、**混雑の改善**が見られます
(2-2工区開通前 約23km/h → 2-1工区開通後 約29km/h)
- ・県内唯一の動物園や多くの手袋関連企業が立地する松原地区と、白鳥大内IC間を移動する交通の**約5割がバイパスを利用**

2. 地域生活の安全性が向上

- ・開通した区間と並行する国道では、**交通事故が約7割減少**
(2-2工区開通前 22件 → 2-1工区開通後 7件)

3. 安全・安心の確保が着実に進展

- ・三次救急医療機関等のある高松方面への救急搬送が約3割を占めるなか、**バイパスが救急搬送ルートとして使われています**
- ・生活道路での通り抜け車両が減少し、住民の方の安心感が向上 (地元住民へのヒアリング調査結果より)

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって継続的・中長期的に得られる効果
※今後も引き続き調査を行い、ストック効果を検証していきます。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先 (〇は主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 香川河川国道事務所 電話 087-821-1561 (代表)

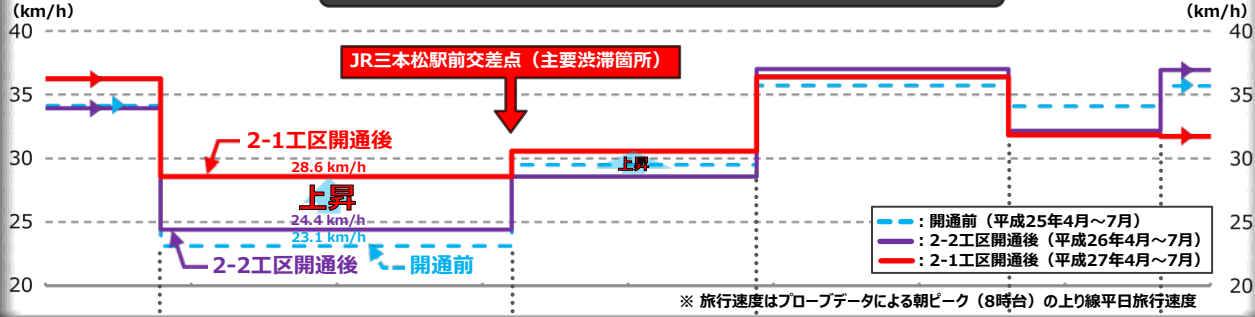
道路副所長： ^{かわさき}川崎 ^{こうひろ}光洋 (内線) 205

〇道路調査課長： ^{やまおか}山岡 ^{としゆき}敏之 (内線) 451

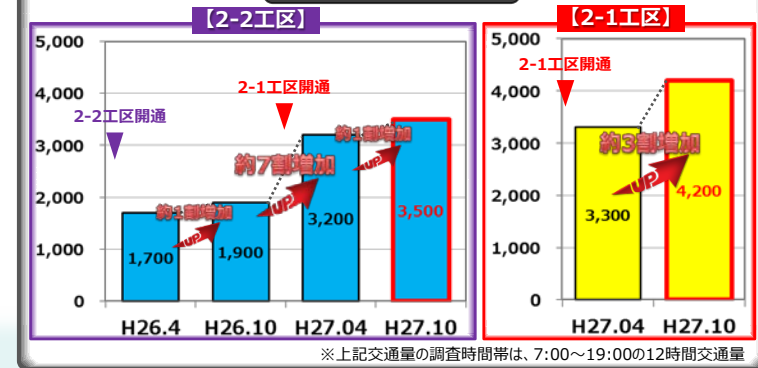
1. 部分開通後の交通状況

- 開通直後に比べ、バイパス交通量（利用車台数）が**約3割増加**しました。（3,300台／12h→4,200台／12h）
- 主要渋滞箇所（JR三本松駅前交差点）の旅行速度が上昇し、**混雑の改善**が見られます。（23 km/h → 29 km/h）
- 県内唯一の動物園や多くの手袋関連企業が立地する松原地区と白鳥大内IC間を移動する交通の**約5割がバイパス**を利用しています。

JR三本松駅前交差点（主要渋滞箇所）前後の旅行速度



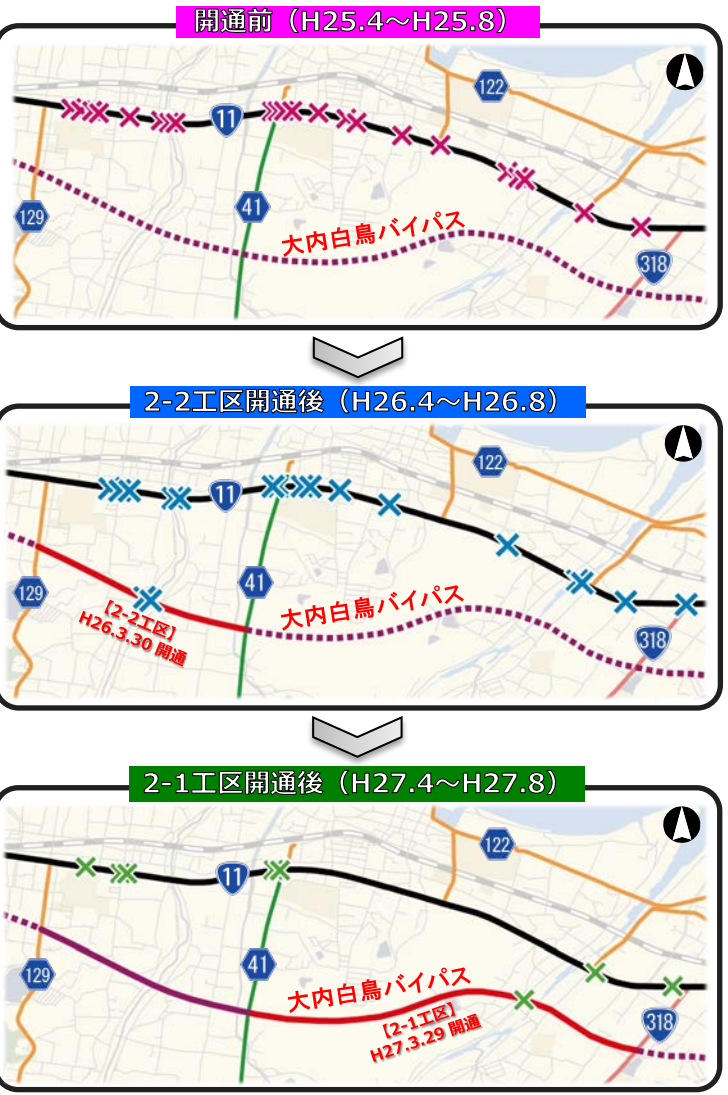
バイパス交通量



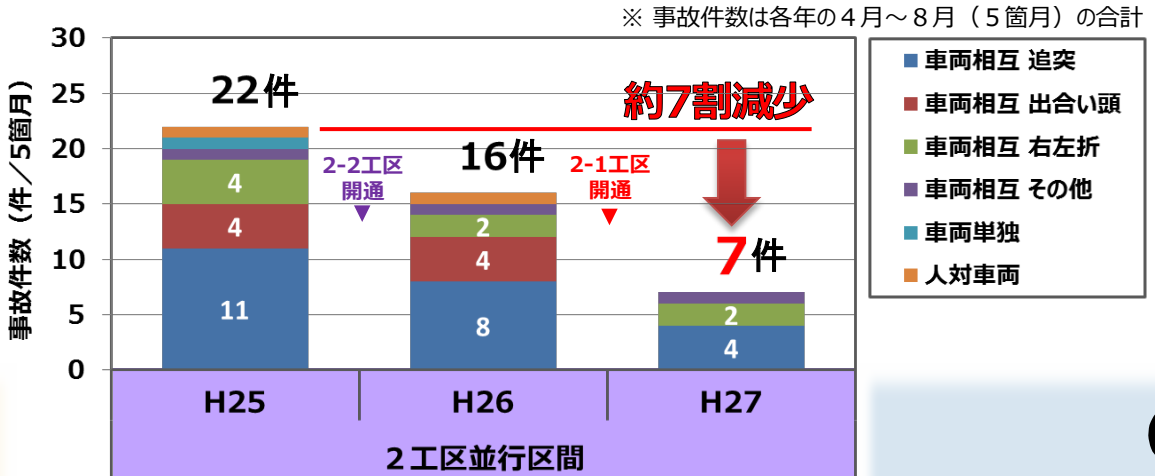
2. 地域生活の安全性が向上

● 開通した区間と並行する国道では、**交通事故が大幅に減少（約7割減少）**しています。

国道11号（2工区並行区間）の交通事故発生箇所



バイパス部分開通前後における国道11号（2工区並行区間）の交通事故発生件数



出典：香川県警交通事故情報提供システム

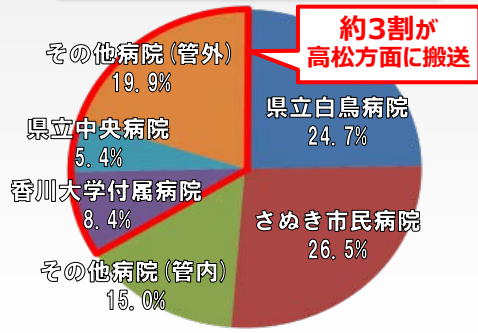
3. 安全・安心の確保が着実に進展

- 三次救急医療※機関等のある高松方面への救急搬送が約3割を占める中、**バイパスが救急搬送ルートとして使われています。**
- 生活道路での通り抜け車両が減少し、住民の方の安心感が向上しています。（地元住民へのヒアリング調査結果より）

※ 三次救急医療は、重症及び複数の診療科領域にわたる全ての重篤な救急患者に対し、24時間体制で高度な救急医療を提供するもの。

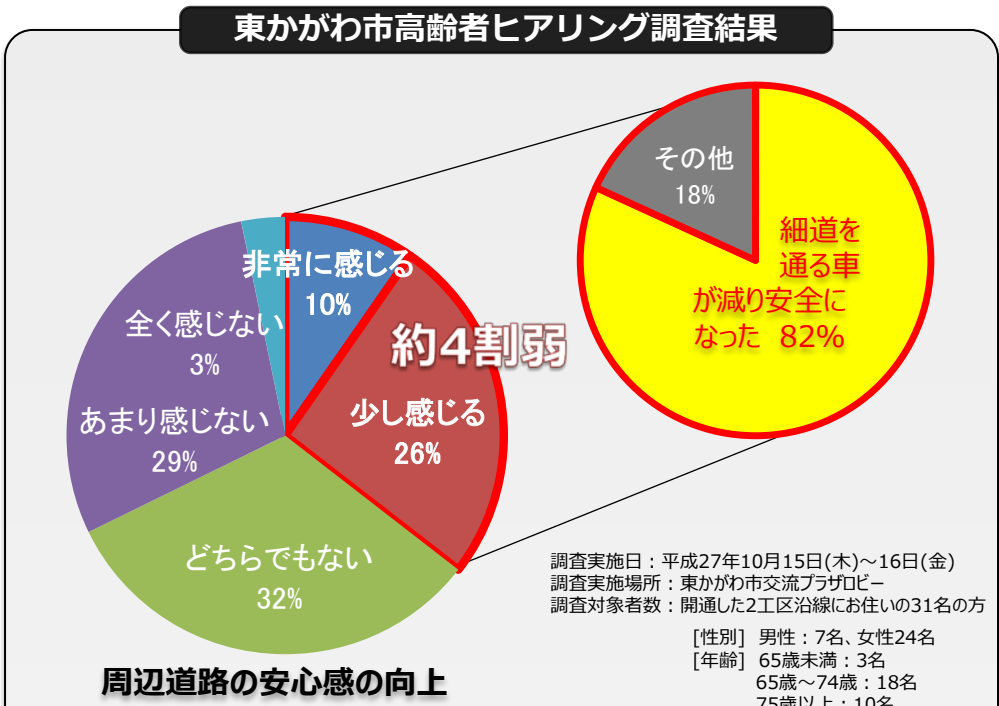


大川広域消防本部
医療機関別搬送割合 (H25)



【大川広域消防本部の声】

- ◆ 市内西部から市内南東部への応援出場※1や、市内南西部から県立白鳥病院への患者搬送※2にバイパスを利用しており、所要時間が短縮されています。
- ◆ 市内東部から白鳥大内ICへのアクセス性が向上し、高速道路を利用し高松方面に管外搬送※3する際は、バイパスをメインのルートとして利用しています。



周辺道路の安心感の向上

【バイパス周辺住民の声】

バイパスが開通し、自宅周辺の細道を通る車が減り安心して歩けるようになりました。
(70歳台・男性)

バイパスを通る車が増え、細道を通る車が減り安全になりました。
(70歳台・女性)

